



青砂ヶ浦天主堂(新上五島町)



堂崎天主堂(五島市)



大曽教会堂(新上五島町)

キリスト教文化遺産群を訪ねて
④ 新上五島町

五島においてカトリック復歸の中心となった教会堂

1797年以降、大村藩から五島列島へ移住した潜伏キリシタンは、大浦天主堂での信徒発見や禁教の高札撤廃の後、信仰を表明。カトリックに復歸した信徒たちは、自分たちの集落に教会堂を建設していきました。

明治初期から宣教師による布教活動が開始された下五島で、拠点として重要な役割を果たすことになった堂崎天主堂。現在の天主堂は赤レンガのゴシック様式で、1907年に完成しました。施工には鉄川與助も参加しています。また、1977年には、内部に堂崎天主堂キリシタン資料館が開設され、布教時代から迫害を経て復活に至る信仰の歴史が展示されています。

一方、青砂ヶ浦天主堂と大曽教会堂は上五島における宣教の中心となった教会堂で、現在の建物とともに鉄川與助の設計施工による赤レンガ造り。レンガは川棚や早岐付近から運ばれ、それを信徒たちが教会堂建設地の下の海岸から背負って運んだと伝えられています。

県内の教会堂の約4割が五島列島にあり、このことは五島列島のカトリック信者の篤い信仰の歴史を物語っています。



堂崎天主堂キリシタン資料館

【入館料】大 人 300円
中高生 150円
小 人 100円
※団体割引(20人以上)あり

【キリスト教文化遺産群】

世界遺産候補「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」とともにキリスト教が日本でどのように伝わり、広まり、根付いていったかを示す貴重な遺産です

おらしょころ旅 検索

問合せ 県の世界遺産登録推進課 ☎095-894-3171